

議員特別研修実施報告書

報告議員名	高橋聖悟	報告日	令和7年7月17日
調査研究・研修等 名 称	自治体・公共Week2025		
実 施 日	令和7年7月2日～4日		
会 場	東京ビックサイト		
調査研究・研修等の 概 要	自治体、公共向けの7つの専門展における製品やサービスの比較検討や、最新トレンドの情報収集。先進事例の動向等の講義の聴講。		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙添付		

※調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

特別研修報告書

- ・ 日時 2025 年 7 月 2、3、4 日
- ・ 会場 東京ビッグサイト
- ・ 内容 自治体・公共 Week2025 展示会
- ・ 報告者 高橋聖悟
- ・ 研修内容

「未来を守る地域防災、政府方針」セミナー

「自治体 DX 推進事例」セミナー

「担い手不足・老朽化に備えるインフラ DX」セミナー

自治体・公共向けの 6 つの専門店で構成された展示会見学。「住みやすいまちづくり」「活性化」「業務効率化」などにつながるサービスの最新トレンドや製品サービスの比較検討、そして、情報収集。

所感

「未来を守る地域防災。政府方針」のセミナーについて。防災立国に向けた最新の取り組みと、今後の方針を内閣府大臣官房審議官が説明。それについては、災害対策基本法等の改正をするということから、国による地方公共

団体に対する支援体制の強化や司令塔として内閣府に防災監を設置するというのが主な改正でありました。その中では、被災者に対する福祉的支援等の充実や、広域避難の円滑化や、被災者援護協力団体の登録制度の創設や防災、DX・備蓄の推進について施策を進めていくとのこと。そしてインフラの復旧・復興の迅速化についても言及をしておりましたが、財源が、財源がという昨今の政府において、果たして種々の課題を解決できるのか疑問でもあります。むしろ問題は政府支出にあると思うことから、今回はその話をする講義が聞きたいです。その他南海トラフ、首都直下型地震について述べられてましたが、現実離れした場所であり、想像が若干離れてしましますが、災害対応として、ハードとして、機器設備、車両はもちろんのこと、ソフトウェア、災害対応力を底上げする人材育成や防災スペシャリストの養成、地域研修、孤立集落状況把握や支援訓練など共通の参考になる部分もありました。

※参考資料あり

「自治体、DX推進事例」セミナーについて。福井県の事例をもとに発表がありました。1「地域課題解決に向けたDXの取り組み」と2「自律的なDX推進に向けた取り組み」について話があり、「1」においては、横手にも参考なる部分として、除雪状況の把握ということで、除雪等の状況を見える化し、県民の安心安全を確保。「みち情報ネット福井」で逐次状況等を公表。AI

の画像解析にて、道路上の不具合箇所を自動で検出・解析。それにより時間前に除雪されたか色分け表示をできたり、路面の凹凸具合を分析し、積雪により走行に注意が必要な地点として提供。もちろん最新の現場画像も見れます。また、健康寿命課題にも DX で取り組んでいました。これは、健康寿命の全国順位が低下していることから、日ごろから歩く仕掛けで健康に。歩数状況に応じた健康ポイントを付与し、それをご当地コインに変え、そのお得感によりユーザを増やし、たくさんの住民を健康にしようとするもの。デジタルにより幅広い世代に施策を訴求。これにより街を歩く方々が増え、健康はもちろん、街の魅力が再認識されたり、様々な発見をしたりということで歩くモチベーションが上がり、健康感や幸せ感が充実。ウェルビーイングが上がったと。住民むけ DX のポイントは、「共創とワクワク感で、地域課題の解決」なる」事例を見ました、。

「担い手不足・老朽化に備えるインフラ DX」セミナーについては、豊田市の事例についてでした。道路やインフラの維持管理管理について「DX アクションプラン」を更新。目指す姿として・施設・現場・窓口・事務・安心、安全の 5 つを「『5 つの景色を変える』市民が幸せと未来を感じる景色に変化」というキャッチコピーに、定型的な業務や数値化できるもの・AI により判断できるものは全てデジタル化にすることにより、インフラ整備・管理、

市民サービス、安心安全の分野において DX を推進し、職員が市民の幸せにつながる行動を実践するということ。推進体制については、建設部長を筆頭に各係まで、すべての部門において DX 推進員を置き、チームをもって DX の推進をしていこうという意気込みでした。そして 10 の職員の行動指針も作り、全員体制でやっているという感じを受けました。また、デジタル技術の開発は急速に進歩していきます。正しく理解をしながら、この速度に遅れることなく、各課の取り組み進捗を共有しながら、迅速かつ柔軟に対応しフォローアップ体制を作りながら進めているとの事でした。一部の職員だけでなく、組織として DX 施策を推進していくことは見習うべきところだと思いました。

取り組み事例としては 5 つの景色ごとにたくさんの DX 化がなされてました。以下資料を参考

自治体・公共向けの 6 つの専門店で構成された展示会見学については、セミナーに連動させたものからなど、最新！？初見のものまで、時間を忘れ腰が痛くなるまでビッグサイトを回りました。以下、特筆すべきもの抜粋です。

- ・災害関連

カナモト:広域相互災害協定によるバッテリー相互支援

ミヤサカ工業:非常用浄水器

トイファクトリー:備えない防災 maru mobi

クルーズプランニング:災害、トイレ モビレスト

シンク:防災スポーツ

山口県産業技術センター:宇宙データ利用推進 他、多分野利用

- ・インフラ整備関連

トヨタ:車両データからのインフラ整備

NTT:車両データからのインフラ整備

その他

- ・セブンイレブン銀行:給付金業務

- ・各社:公共交通モビリティ

- ・各社:災害トイレ車両

- ・各社:会議録作成、会議システム、議会答弁検討システム

※資料あり

最後に、地方ではなかなか聞くことができないセミナーや、なかなか見ることがない最新技術の展示物を見聞きして自分の知識が増えました。こういった技術革新や取り組みを横手市政に取り上げ提案していきたいと思います。